

重大事故特化の調査委員会立ち上げ 国土交通省

2014年6月27日(金)8時0分

国土交通省は、バスやトラックなどによる重大事故に特化した事故調査委員会を立ち上げました。バスやトラック、タクシーを対象にした「事業用自動車事故調査委員会」は、自動車や道路工学、医師や弁護士など複数の専門家で構成されます。事業用の車による交通事故は、年間4万件ほど起きていますが、事故原因の究明や再発防止策などを国に提言する専門の機関はありませんでした。しかし、最近、運転手の居眠りで乗客7人が死亡した関越道でのバス事故など、運転手の過労や会社の経営体制に問題がある事故が増えています。

ヒヤリ・ハットの経験を思い出そう！

熱中症に注意、「水分補給」

- ◆車間距離は、今までの1.5倍～2.0倍
- ◆自転車・歩行者の横を通過、今までより50cmの間を空ける

子ども、自転車を見かけたら 徐行し、急な飛び出しなどに十分注意！

横断歩道のないところで、はねられる事故多発

脇道から乗用車が出てくるかも知れません！

バック時は 降りて確認 乗っても確認

交差点 「右左確認／よ～し！」

止まっている車の間から横断しようとした

自転車で通学途中の女子高生はねる

2014年6月27日(金)2時4分

26日午前7時ごろ、千葉県の路上で自転車で通学途中とみられる女子高校生に警察官が運転する乗用車が衝突、女子高校生は頭を強く打って病院に運ばれました。警察によりますと、乗用車を運転していたのは男性警部補(39)で、出勤途中だったということです。現場は横断歩道や信号機のない直線道路で事故当時、警部補が走行していた車線の反対側が渋滞していて、女子高校生は渋滞で止まっている車の間から横断しようとしたということです。

建物あり、見通し悪い交差点、左折時

横断歩道を歩いて横断中の67歳男性、はねられ重傷

2014年6月26日(木)21時46分

26日午後4時35分ごろ、神奈川県のある町道で、横断歩道を歩いて横断中の近くに住む男性(67)が右方向から左折中の乗用車にはねられ、顔面骨折の重傷を負った。命に別条はないという。警察は、過失運転致傷の現行犯で、乗用車を運転していた会社員の男性容疑者(60)を逮捕した。「事故を起こしてけがをさせた」と容疑を認めているという。現場は信号機のない丁字路交差点で、建物があり見通しが悪かった。

踏切、警報機、進むかバックするか迷った

遮断機が降りてきて、軽トラックが列車と衝突

[2014/6/27 18:30]

27日午前10時すぎ、佐賀県のJR線の踏切で、列車と軽トラックが衝突し、列車の乗客3人が軽いケガをしました。軽トラックの男性は「踏切に入ろうとしたら警報機が鳴り、進むかバックするか迷っていたら遮断機が下りてきた」と話しているということです。